

市民公益活動に関するアンケート調査報告書

令和4年9月

北本市

I 市民公益活動に関するアンケート実施概要

1 調査の目的

市では北本市自治基本条例に掲げる市民主役のまちづくりを目指し、市民公益活動を支援しています。

今回、北本市市民公益活動推進計画の見直しに当たり、市内の市民公益活動団体の現状や市民公益活動に携わる方の意見等を把握するためアンケート調査を実施しました。

2 調査概要

(1) アンケート送付先（計72団体）

ア 市内に主たる事務所を置くNPO法人（埼玉県認証団体）15団体

イ 北本市ボランティアセンター登録団体 38団体

ウ 埼玉県NPO情報ステーション登録団体 6団体

エ 北本市市民公益活動団体 登録団体 13団体

(2) 提出方法

郵送による配付・回収

(3) 調査期間

令和4年7月1日～8月10日

(4)回収結果

アンケートを送付した72団体中、回答のあった団体は45団体、有効回答率は62.5%でした。

3 報告書の表記について

(1)調査結果の比率はすべて%で表しており、その質問の回答者数を基数として、少数第2位を四捨五入して算出しています。なお、合計が100%にならない場合があります。

(2)複数回答形式の場合、合計が100%を超えます。

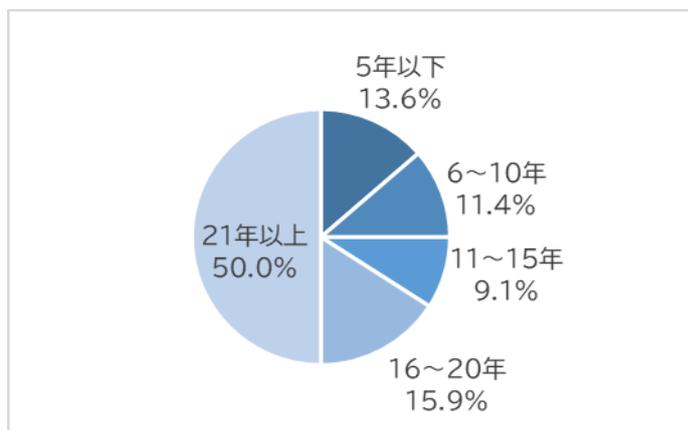
(3)グラフ中の「n」とは、その質問への回答者数を表します。割合は無回答を除いた回答人数（有効回答数）を分母として算出しているため、有効回答数（n）は異なる場合があります。

(4)質問の選択肢は意味を損なわない程度に省略した表現を用いている場合があります。

II アンケート集計結果

1 団体の状況について

【問1】活動を開始してからの経過年数（n = 44）



活動を開始してからの経過年数については、「21年以上」と回答した団体が最も多く、「11年から15年以下」が最も少ないという結果でした。10年を超えて活動している団体が7割以上であり、長期間継続して活動している団体が多くなっています。

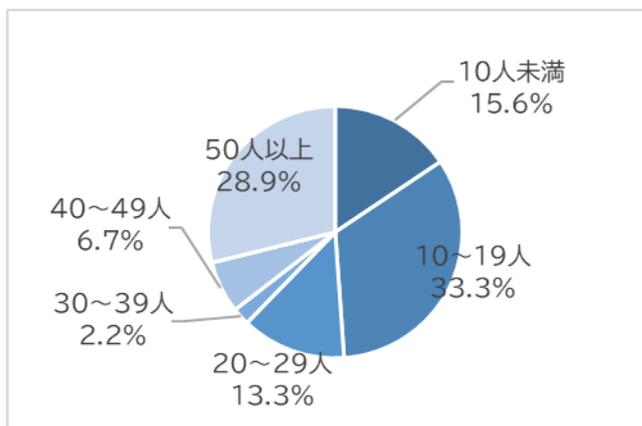
【問2】主な活動分野について（複数回答可）（n = 45）

(1) 保健・医療・福祉	23 (51.1%)
(2) 社会教育	7 (15.6%)
(3) まちづくり	11 (24.4%)
(4) 観光	3 (6.7%)
(5) 学術・文化・芸術・スポーツ	10 (22.2%)
(6) 環境保全	4 (8.9%)
(7) 災害救援	2 (4.4%)
(8) 地域安全	2 (4.4%)
(9) 人権・平和	6 (13.3%)
(10) 国際協力	1 (2.2%)
(11) 男女共同参画	3 (6.7%)
(12) 子どもの健全育成	13 (28.9%)
(13) 情報化社会の発展	0 (0%)
(14) 科学技術の振興	1 (2.2%)
(15) 経済活動の活性化	1 (2.2%)
(16) 職能開発・雇用拡充	1 (2.2%)
(17) 消費者保護	0 (0%)

- (18) NPO支援 2 (4. 4%)
- (19) その他 8 (17. 8%)

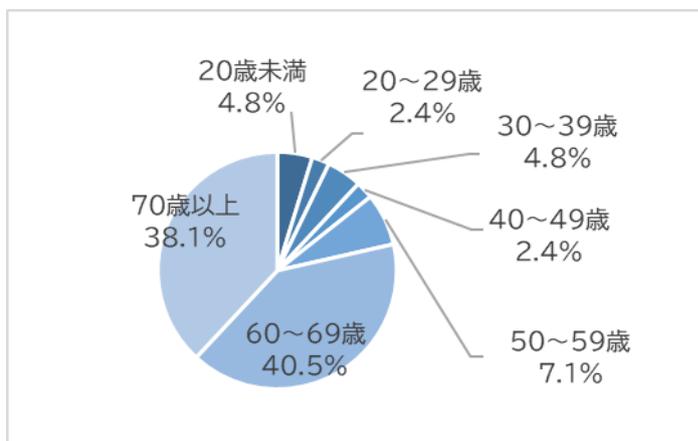
活動分野については、「保健・医療・福祉」が最も多く、続いて、「子供の健全育成」「まちづくり」という結果でした。その他の内容は「地域貢献」、「健康維持」等がありました。

【問3】 会員数 (n = 45)



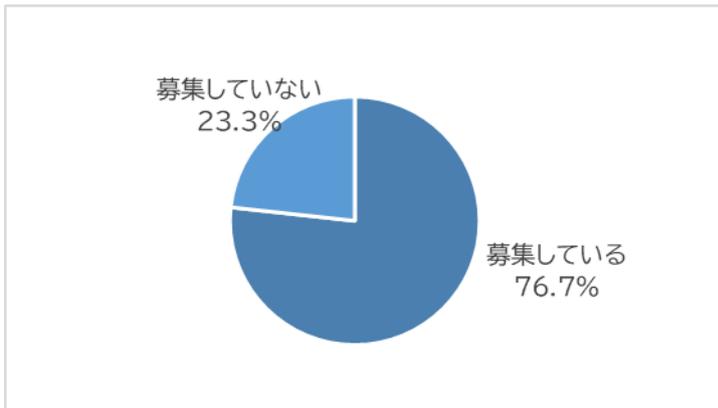
会員数については、「10~19人」と回答した団体が最も多く、続いて「50人以上」という結果でした。

【問4】 会員の主な年齢構成 (n = 42)



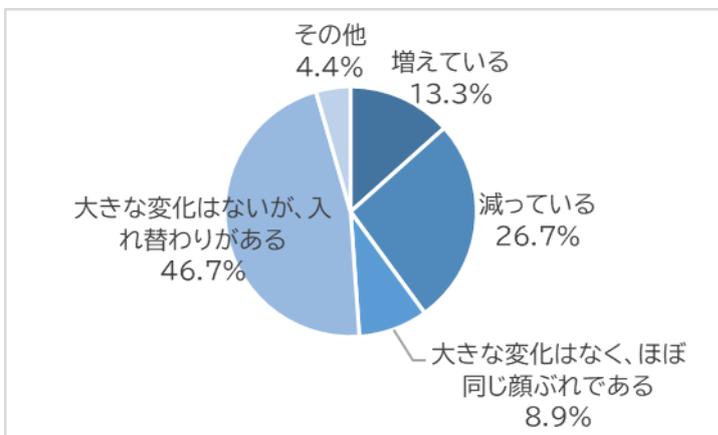
会員の年齢構成については、「60~69歳」と回答した団体が最も多く、続いて「70歳以上」、「50~59歳」という結果でした。主に60歳以上の会員で構成される団体が8割近くを占め、団体の高齢化が進んでいます。

【問5】新規会員の募集の有無（n = 43）



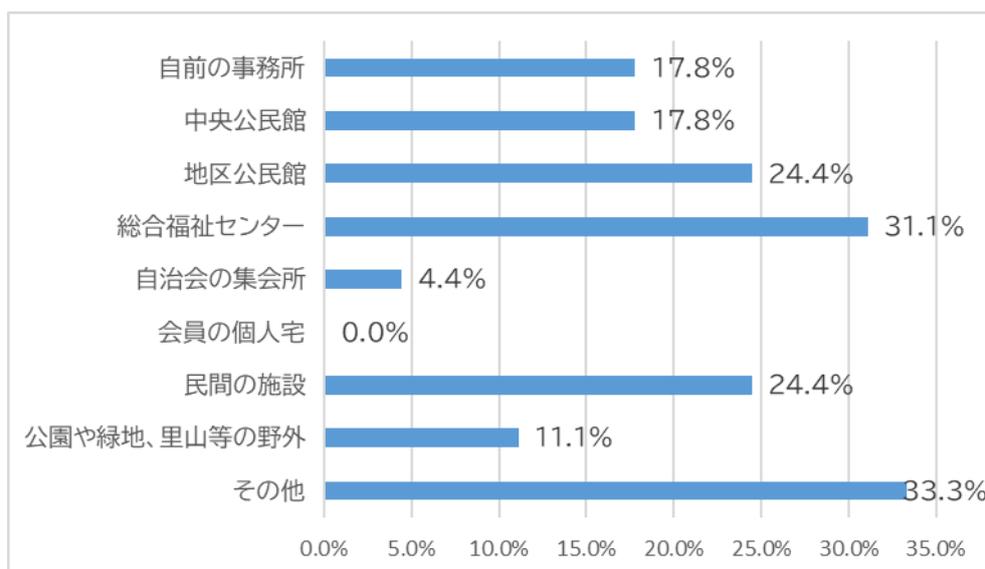
新規会員については、約7割の団体が「募集している」と回答しています。

【問6】会員数の動向（n = 45）



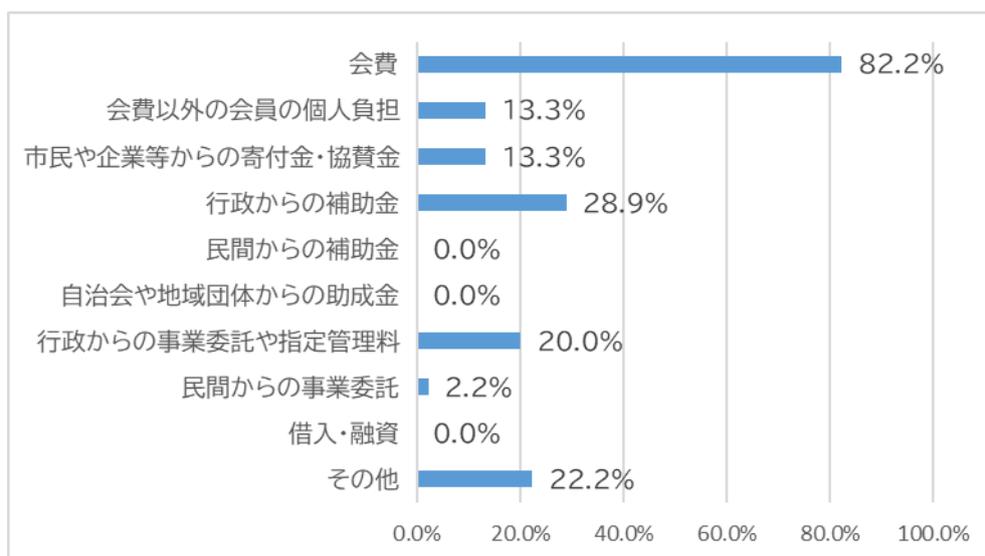
会員数の動向については、「会員数に大きな変化はないが、入れ替わりがある」と回答した団体が最も多く、続いて「会員数が減っている」という結果でした。

【問7】主な活動場所（2つまで）（n = 45）



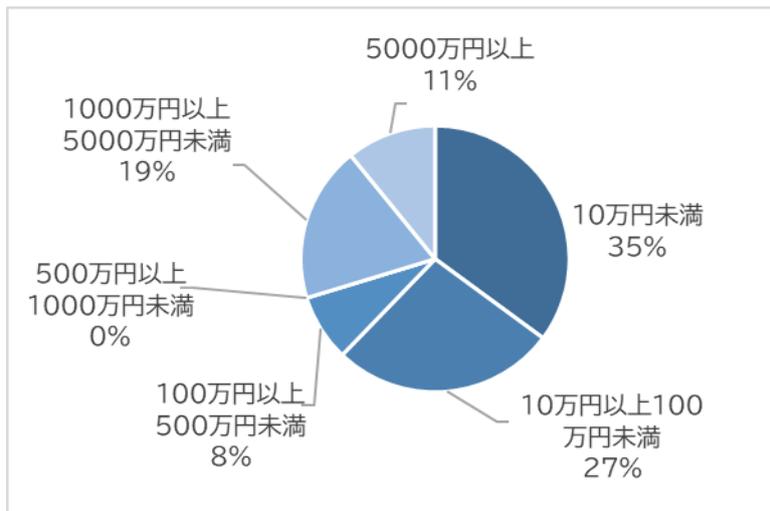
主な活動場所については、公民館等の公共施設を利用している団体が多く、続いて「民間の施設」、「その他」という結果でした。「その他」には、訪問先や活動場所である施設等がありました。

【問8】主な活動資金（2つまで）（n = 45）



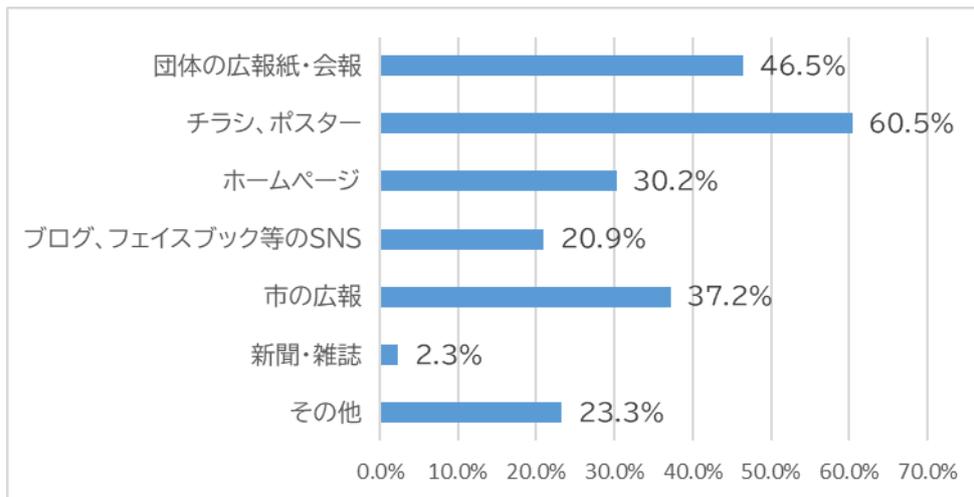
主な活動資金については、「会費」と回答した団体が最も多く、続いて「行政からの補助金」という結果でした。「その他」は、社会福祉協議会からの補助や独自事業による収入等がありました。

【問9】年間の予算規模（n = 37）



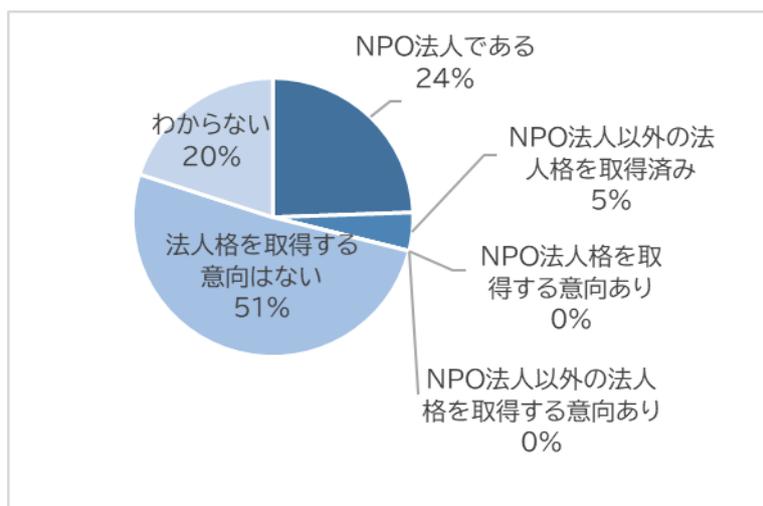
年間の予算については、「10万円未満」である団体が最も多く、続いて「10万円以上100万円未満」、「1000万円以上5000万円未満」という結果でした。

【問10】情報発信の方法（複数回答可）（n = 43）



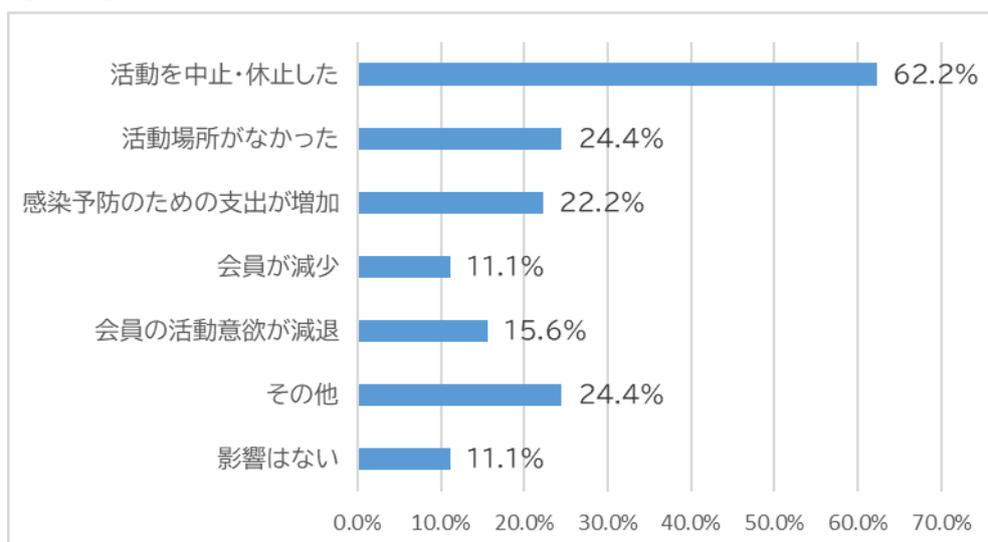
各団体が実施している情報発信の方法については、「チラシ・ポスター」と回答した団体が最も多く、続いて「団体の広報紙・会報」、「市の広報」という結果でした。その他の内容は「口コミ」「社協の広報」などが挙げられました。

【問 11】 法人格取得の意向 (n = 45)



法人格取得の意向については、「法人格を取得する意向はない」と答えた団体が最も多く、続いて「NPO法人である」という結果でした。「NPO法人以外の法人格を取得済みである」と回答した団体の法人格の種別は、社会福祉法人と一般社団法人でした。

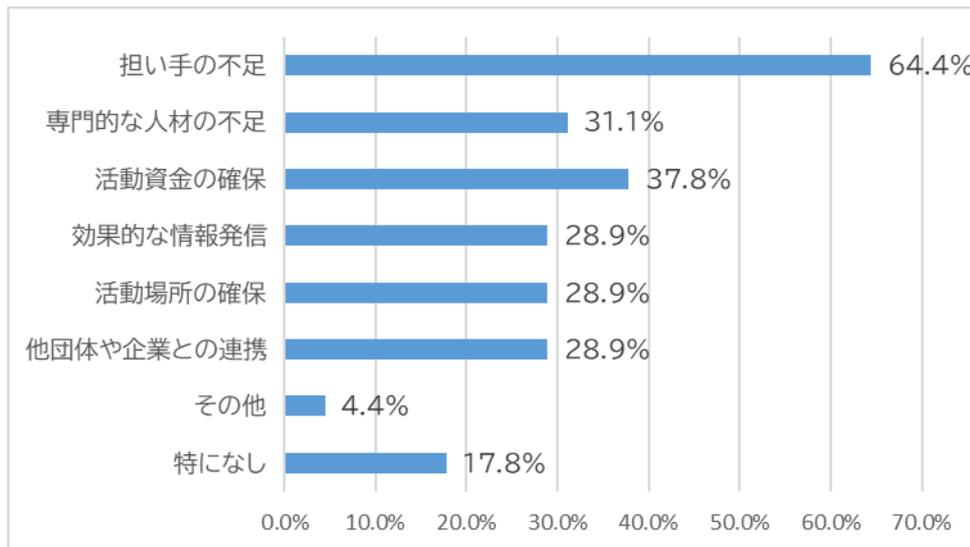
【問 12】 コロナ禍の影響 (複数回答可) (n = 45)



新型コロナウイルス感染拡大による影響は、「活動を中止・休止した」と答えた団体が最も多く、続いて、「活動場所がなかった」という結果でした。その他は、「オンラインを活用した」「感染防止をして事業を継続した」等がありました。一方で、「会員が減少」、「会員の活動意欲が減退」は少なく、新型コロナウイルス感染拡大による会員の活動意欲への影響は少ないことが伺えます。

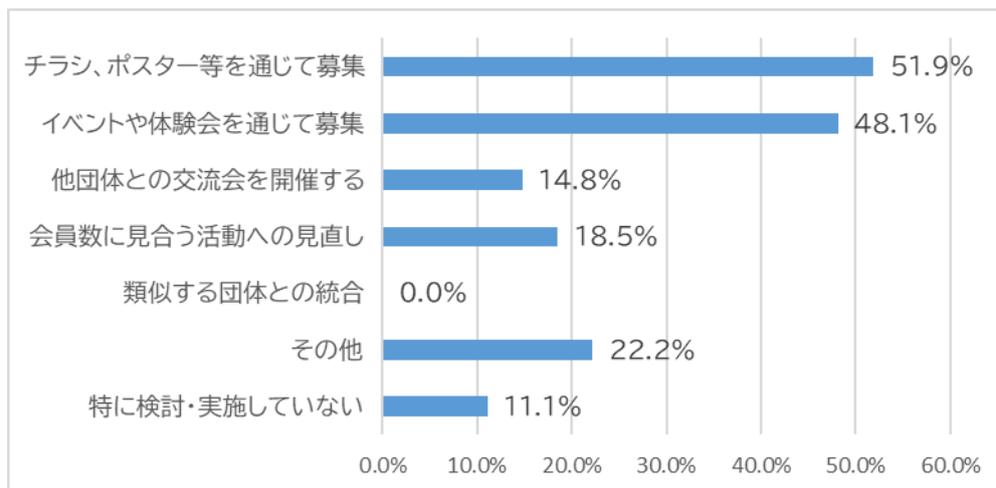
2 現在の課題について

【問 13】 現在感じている課題（複数回答可）（n = 45）



現在感じている課題については、「活動の担い手の不足」と答えた団体が最も多く、続いて「活動資金の確保」が多くなっています。

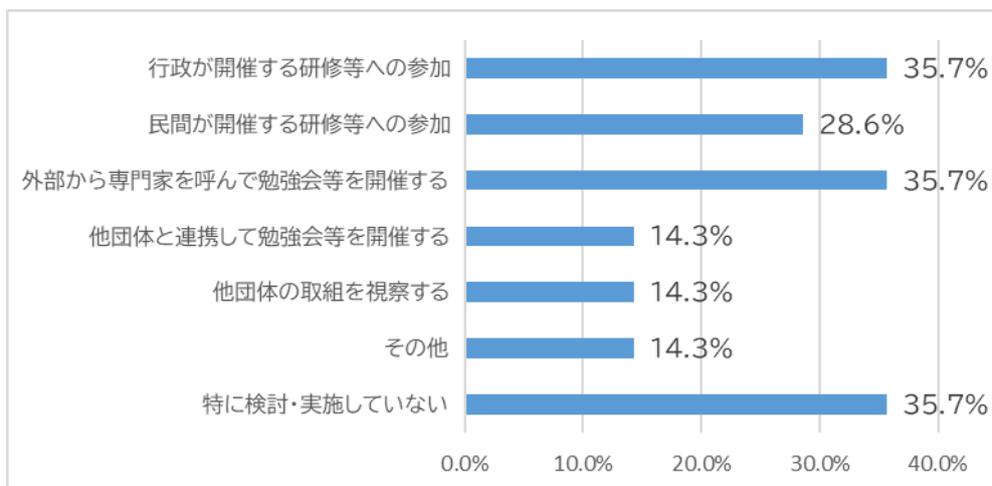
【問 14】 「活動の担い手の不足」に対する解決方法（複数回答可）（n = 27）



「問 13 現在感じている課題」で「活動の担い手の不足」と回答した団体の内、課題を解決する方法については、「チラシ、ポスター等を通じて会員を募集する」、「イベントや体験会等を通じて会員を募集する」が多くなっています。その他の内容は、声かけ、口コミ、紹介等がありました。

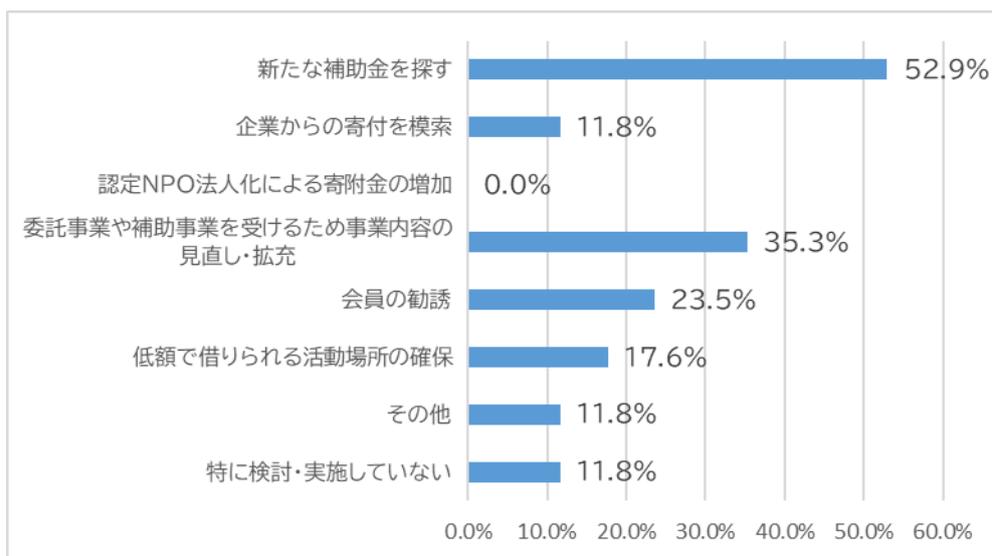
【問 15】 「専門的な知識や技術を持っている人材の不足」に対する解決方法

(複数回答可) (n = 14)



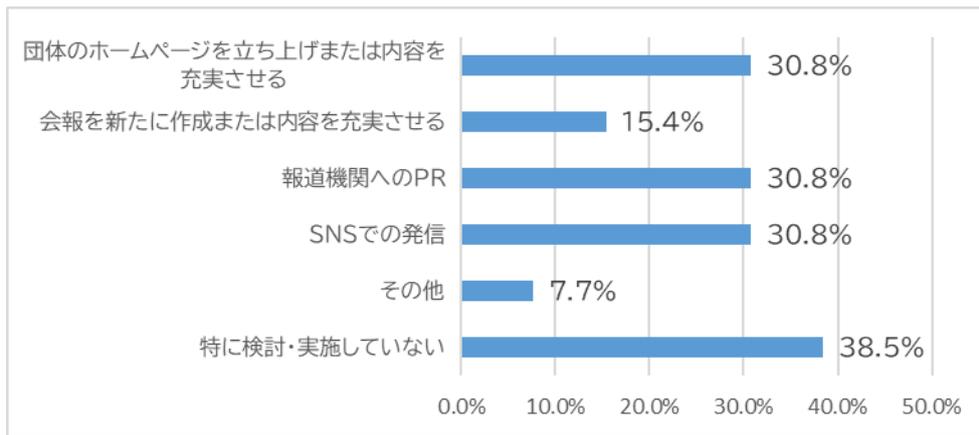
「問 13 現在感じている課題」で「専門的な知識や技術を持っている人材の不足」と回答した団体の内、課題に対しての解決方法については、「行政が開催する研修等への参加」、「外部から専門家を呼んで勉強会等を開催する」、「特に検討・実施していない」が多くなっています。

【問 16】 「活動資金の確保」に対する解決方法 (複数回答可) (n = 17)



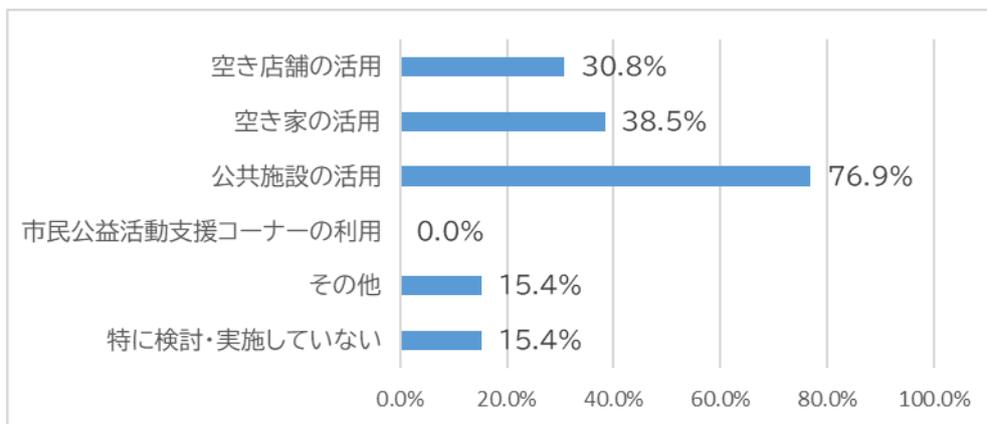
「問 13 現在感じている課題」で「活動資金の確保」と回答した団体の内、その課題に対しての解決方法については、「新たな補助金を探す」、「委託事業や補助事業を受けるための事業内容の見直しや拡充」が多くなっています。

【問 17】 「効果的な情報発信」に対する解決方法（複数回答可）（n = 13）



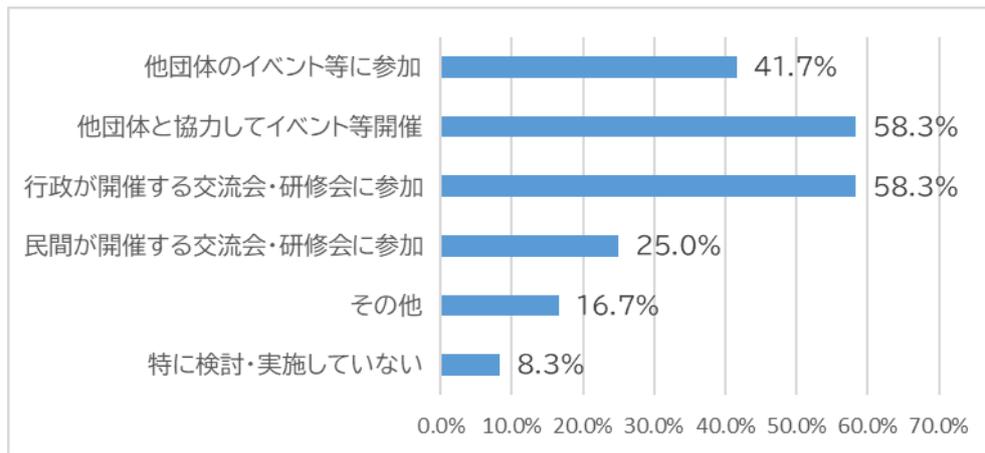
「問 13 現在感じている課題」で「効果的な情報発信」と回答した団体の内、その課題に対しての解決方法については、「特に検討・実施していない」が最も多く、続いて「団体のホームページを新たに立ち上げるまたは内容を充実させる」、「報道機関へのPR」、「SNSでの発信」となっています。

【問 18】 「活動場所の確保」に対する解決方法（複数回答可）（n = 13）



「問 13 現在感じている課題」で「活動場所の確保」と回答した団体の内、課題に対しての解決方法については、「公共施設の活用」が最も多く、次に「空き家の活用」、「空き店舗の活用」という回答が多くなっています。

【問 19】 「他団体や企業との連携」に対する解決方法（複数回答可）（n = 12）



「問 13 現在感じている課題」で「他団体や企業との連携」と回答した団体の内、課題に対する解決方法については、「他団体と協力してイベント等開催」、「行政が開催する交流や研修等に参加」という回答が多くなっています。

【問 19-1】 他団体や企業との交流や連携を実施した事例

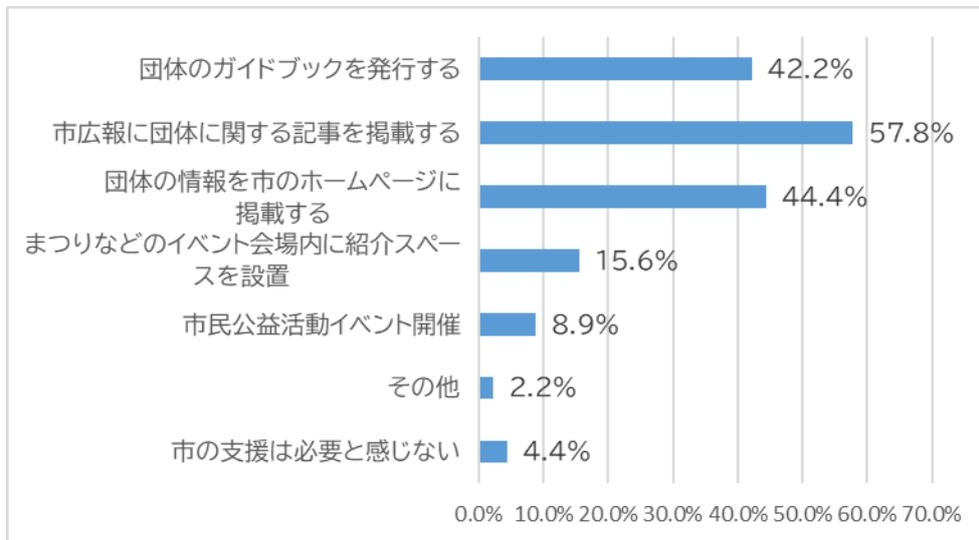
- ・他団体のイベント・講演会に参加
 - ・他団体と共催で事業を実施
- などの回答がありました。

【問 20】 「その他の課題」に対する解決方法

- ・外国出身者を雇用している企業を訪問し、日本語学習と生活支援情報を必要としているかなどの聞き取りを行っている。
 - ・たまサポに相談したいと思っている。
- などの回答がありました。

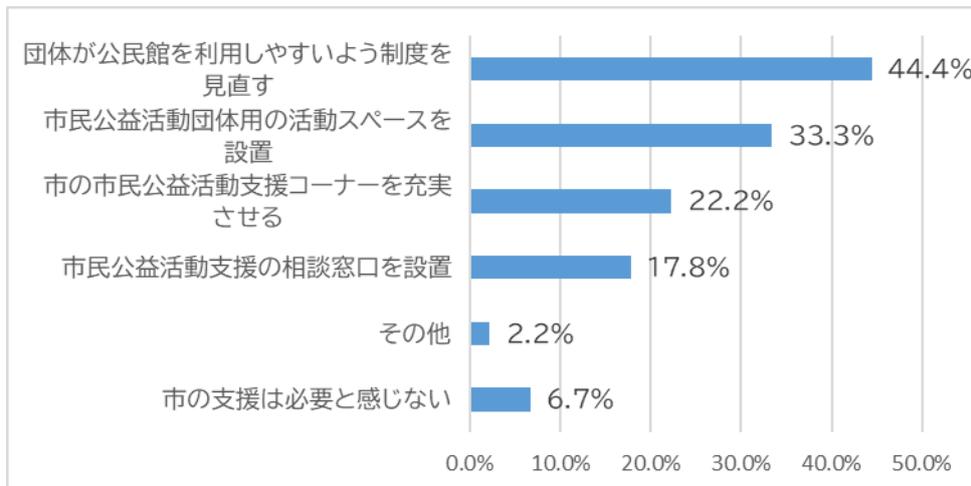
3 市民公益活動に対する市の支援について

【問 21】 市民公益活動団体をPRするため情報発信の方法（3つまで）（n = 45）



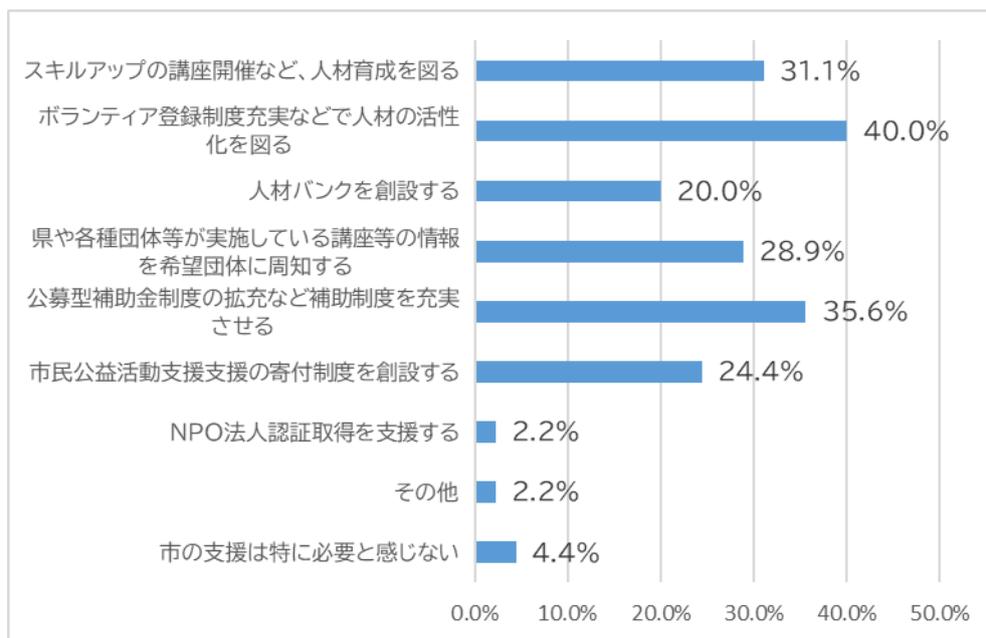
市民公益活動団体をPRするための方法については、「市の広報に市民公益活動に関する記事を掲載する」という回答が最も多く、続いて「市民公益活動団体の情報をまとめて市のホームページに掲載する」、「市民公益活動団体の情報をまとめたガイドブックを発行する」という結果でした。

【問 22】 市民公益活動団体の活動環境を向上させる方法（2つまで）（n = 45）



市民公益活動団体の活動環境を向上させる方法については、「市民公益活動団体がより使用しやすいよう制度を見直す」という回答が最も多く、続いて「市民公益活動団体用の活動スペースを設置する」という結果でした。

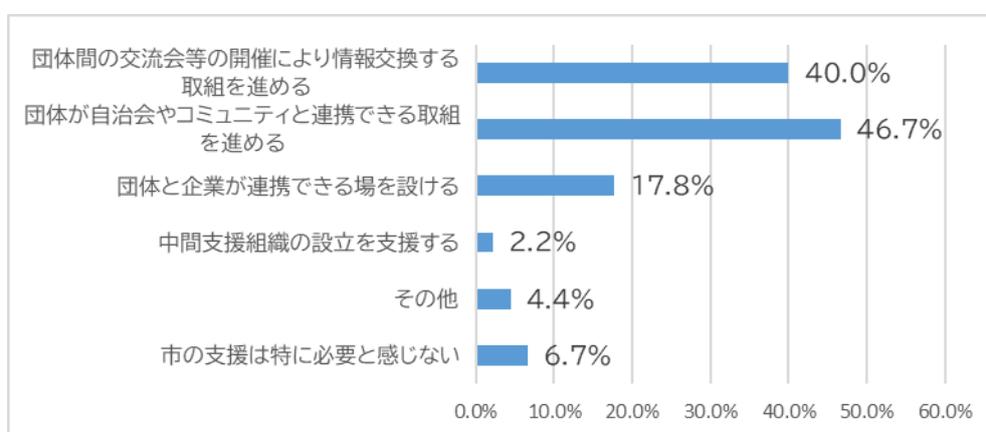
【問 23】 市民公益活動団体の活動をさらに活性化させる方法（3つまで）（n = 45）



市民公益活動の活動団体の活動をさらに活性化させる方法については、「ボランティア登録制度を充実させるなど人材の活性化を図る」という回答が最も多く、続いて「公募型補助金の拡充など補助制度を充実させる」、「スキルアップの講座開催など、人材育成を図る」という結果でした。

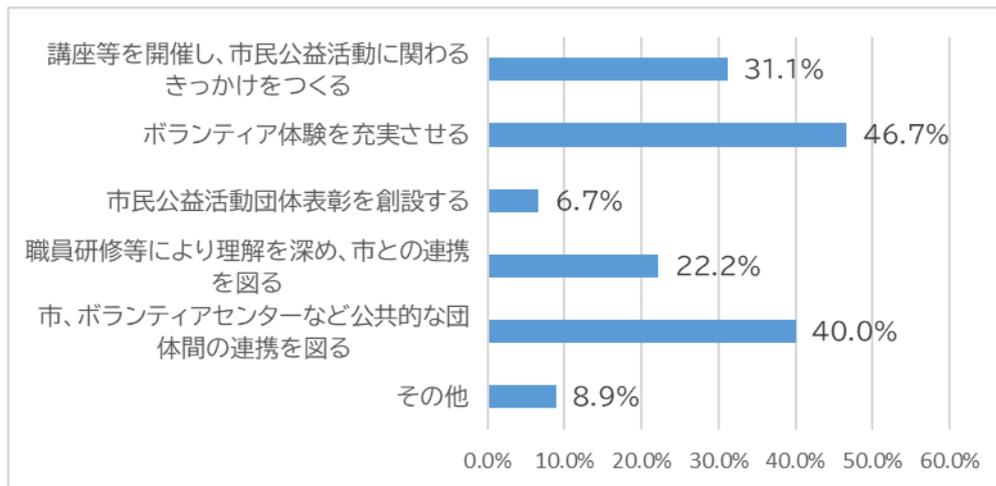
【問 24】 市民公益活動団体間の交流やネットワーク化を図る方法

（2つまで）（n = 45）



市民公益活動団体間の交流やネットワーク化を図る方法については、「団体間の交流会等を開催し、情報交換する取組を進める」、「団体が自治会や地域コミュニティと連携出来る取組を進める」という回答が多くなっています。

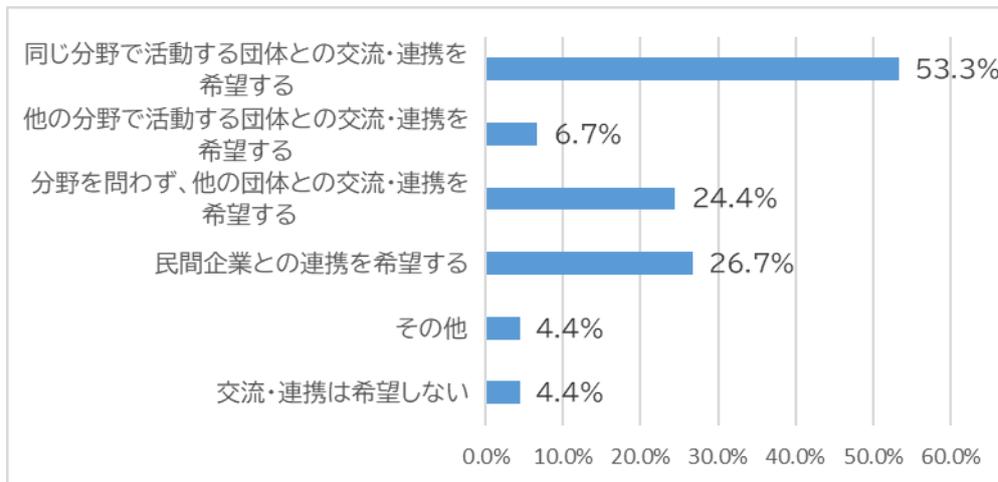
【問 25】 その他、市民公益活動を活性化するための支援方法（複数回答可）（n = 45）



その他に、市民公益活動を活性化するための支援方法については、「ボランティア体験を充実させる」という回答が最も多く、続いて「市、ボランティアセンター、その他公共的な団体間の連携を図る」という結果でした。

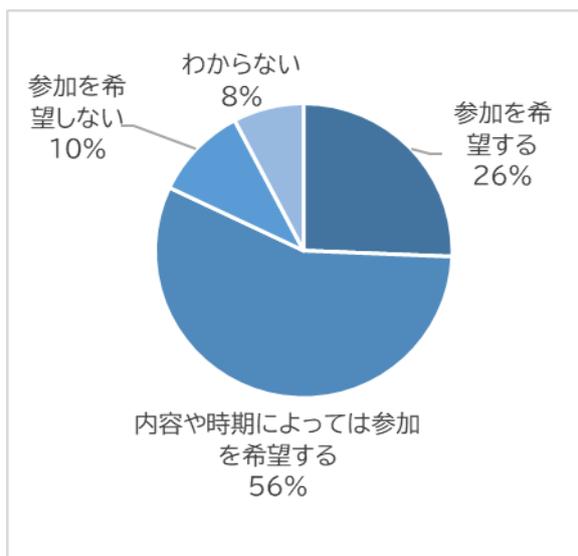
4 他団体や企業との交流について

【問 26】 他の市民公益活動団体や企業との交流・連携（複数回答可）（n = 45）



他の市民公益活動団体や企業との交流・連携については、「同じ分野で活動する団体との交流・連携を希望する」という回答が最も多く、続いて「民間企業との連携を希望する」、「活動分野を問わず、他の団体との交流・連携を希望する」という結果でした。

【問 27】 情報交換会やパネル展等への参加意向（n = 39）



約7割の団体が参加を希望するという結果でした。多くの団体が他団体との交流に前向きであることがわかりました。

Ⅲ 調査票

市民公益活動に関するアンケート調査のお願い

1 調査の目的

北本市では、北本市自治基本条例に掲げる市民主役のまちづくりを目指し、市民公益活動¹（例：ボランティア活動）を推進するため、「北本市市民公益活動推進計画」を策定し、市民公益活動団体²（例：NPO法人）の活動を支援しています。

このたび、上記計画の見直しにあたり、市内の市民公益活動団体の現状や市民公益活動をされている皆様のご意見をお伺いするためのアンケート調査を実施しますので、本調査の目的をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

2 ご提出方法

同封の返信用封筒に入れて、ポストへ投函してください。

3 ご提出期限

令和4年8月10日（水）

4 お問い合わせ・ご返送先

北本市役所くらし安全課市民協働担当
〒364-8633 北本市本町1丁目111番地
TEL：048-594-5521（直）
Eメール：a02800@city.kitamoto.lg.jp
担当：金子 小山 石橋

※回答いただいた内容は、本調査の目的以外には使用いたしません。

¹ 不特定かつ多数のものの利益その他社会全般の利益の増進に寄与することを目的とし、自主的かつ自発的に行う活動。例えばボランティア活動など。

² 市民公益活動を行う団体で、自治会、NPO法人、ボランティア団体など。

市民公益活動に関するアンケート調査票

1 現在の貴団体の状況について

問1 活動を始めて何年経過したかご記入ください。

() 年

問2 主な活動分野に○をつけてください。(複数回答可)

- ①保健・医療・福祉 ②社会教育 ③まちづくり
④観光 ⑤学術・文化・芸術・スポーツ ⑥環境保全
⑦災害救援 ⑧地域安全 ⑨人権・平和 ⑩国際協力
⑪男女共同参画 ⑫子どもの健全育成 ⑬情報化社会の発展
⑭科学技術の振興 ⑮経済活動の活性化
⑯職能開発・雇用拡充 ⑰消費者保護 ⑱NPO支援
⑲その他 ()

問3 会員数は何人ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①10人未満 ②10～19人 ③20～29人
④30～39人 ⑤40～49人 ⑥50人以上

問4 会員の主な年齢構成について、最も多い年齢層に○をつけてください。

- ①20歳未満 ②20～29歳 ③30～39歳
④40～49歳 ⑤50～59歳 ⑥60～69歳
⑦70歳以上

問5 新規会員を募集していますか。

- ①募集している ②募集していない

問9 年間の予算規模をご記入ください。

約（ ）万円

問10 情報発信の方法として活用しているものについて、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

- ①団体の広報紙・会報
- ②チラシ、ポスター
- ③ホームページ
- ④ブログ、フェイスブック等のSNS
- ⑤市の広報
- ⑥新聞・雑誌
- ⑦その他（ ）

問11 法人格の取得について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①特定非営利活動促進法に基づくNPO法人である
- ②NPO法人以外の法人格を取得済みである
→種別をご記入ください（ ）
- ③NPO法人格を取得する意向がある
- ④NPO法人以外の法人格を取得する意向がある
- ⑤法人格を取得する意向はない
- ⑥わからない

問12 新型コロナウイルス感染拡大により貴団体の活動にはどのような影響がありますか。当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

- ①団体の活動を中止・休止した。又は休止している。
- ②公共施設等の利用制限で活動場所がなかった。
- ③消毒薬の購入等、感染予防対策のための支出が増加した。
- ④会員が減少した。
- ⑤会員の活動意欲が減退した。
- ⑥その他（ ）
- ⑦影響はない。

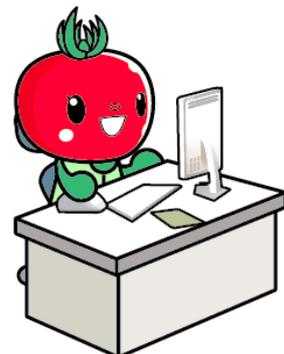
2 現在の課題について

問 13 現在感じている課題について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ①活動の担い手の不足
- ②専門的な知識や技術を持っている人材の不足
- ③活動資金の確保
- ④より効果的な情報発信
- ⑤活動場所の確保
- ⑥他団体や企業との連携
- ⑦その他 ()
- ⑧特に問題・課題はない →問 21 に進んでください

問 14 問 13 で「①活動の担い手の不足」と回答した方に伺います。現在検討しているまたは実施している解決方法について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ①チラシ、ポスター等を通じて会員を募集する
- ②イベントや体験会等を通じて会員を募集する
- ③他団体との交流会を開催する
- ④現状の会員数に見合う活動への見直し
- ⑤類似する団体との統合
- ⑥その他 ()
- ⑦特に検討または実施していない



問17 問13で「④より効果的な情報発信」と回答した方に伺います。現在検討しているまたは実施している解決方法について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ①団体のホームページを新たに立ち上げまたは内容を充実させる
- ②会報を新たに作成または内容を充実させる
- ③報道機関等へのPR（新聞や雑誌等に記事を取り上げてもらうため）
- ④SNSでの発信
- ⑤その他（）
- ⑥特に検討または実施していない

問18 問13で「⑤活動場所の確保」と回答した方に伺います。現在検討しているまたは実施している解決方法について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ①空き店舗の活用
- ②空き家の活用
- ③公共施設の活用
- ④北本市役所2階にある市民公益活動支援コーナーの利用
- ⑤その他（）
- ⑥特に検討または実施していない

3 市民公益活動に対する市の支援について

問 21 市民公益活動団体をPRするため情報発信の方法について、有効だと思うものに○をつけてください。(3つまで)

- ①市民公益活動団体の情報をまとめたガイドブックを発行する
- ②市の広報に市民公益活動団体に関する記事を掲載する。
- ③市民公益活動団体の情報をまとめて市のホームページに掲載する
- ④北本まつり等多くの市民が集まるイベント会場内に市民公益活動団体紹介スペースを設置する
- ⑤市民公益活動に特化したイベントを開催する
- ⑥その他 ()
- ⑦市の支援は特に必要と感じない

問 22 市民公益活動団体の活動環境を向上させる方法について、有効だと思うものに○をつけてください。(2つまで)

- ①市民公益活動団体が公民館を利用しやすいよう制度を見直す
- ②市民公益活動団体用の活動スペースを設置する
- ③北本市市民公益活動支援コーナーの内容を充実させる
- ④市民公益活動支援に特化した相談窓口を開設する
- ⑤その他 ()
- ⑥市の支援は特に必要と感じない



問 23 市民公益活動団体の活動をさらに活性化させる方法について、有効だと思うものに○をつけてください。(3つまで)

- ①市民公益活動団体のメンバーのスキルアップの講座を開催するなど人材育成を図る
- ②ボランティア登録制度を充実させるなど人材の活性化を図る
- ③市民公益活動に必要な人材を紹介できるような人材バンクを創設する
- ④埼玉県や各種団体等が実施している講座、イベント、人材交流等の取組について、希望する団体へ周知する
- ⑤活動資金を支援するため公募型補助金制度を拡充するなど補助制度を充実させる
- ⑥市民公益活動支援のための寄付制度を創設する
- ⑦NPO法人認証取得を支援する
- ⑧その他 ()
- ⑨市の支援は特に必要と感じない

問 24 市民公益活動団体間の交流やネットワーク化を図る方法について、有効だと思うものに○をつけてください。(2つまで)

- ①市民公益活動団体間の交流会等を開催し、情報交換する取組を進める
- ②市民公益活動団体が自治会や地域コミュニティと連携できる取組を進める
- ③市民公益活動団体が企業と連携できる場を設ける
- ④市民公益活動団体を支援する団体として、中間支援組織の設立を支援する
- ⑤その他 ()
- ⑥市の支援は特に必要と感じない

問 25 その他に、市民公益活動を活性化するための支援方法として、有効だと思うものに○をつけてください。（複数回答可）

- ①市民公益活動入門講座等を開催し、様々な人が市民公益活動に関わるきっかけをつくる
- ②小・中学校のボランティア体験を充実させる
- ③北本市表彰に代わる新たな市民公益活動団体表彰を創設する
- ④職員研修の開催等により市役所内での理解を深め、連携を図る
- ⑤市、ボランティアセンター、その他公共的な団体間の連携を図る
- ⑥その他

4 他団体や企業との交流について

問 26 他の市民公益活動団体や企業との交流・連携について、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

- ①同じ分野で活動する団体との交流・連携を希望する
- ②他の分野で活動する団体との交流・連携を希望する
- ③活動分野を問わず、他の団体との交流・連携を希望する
- ④民間企業との交流・連携を希望する
- ⑤その他（）
- ⑥他団体や企業との交流・連携は希望しない

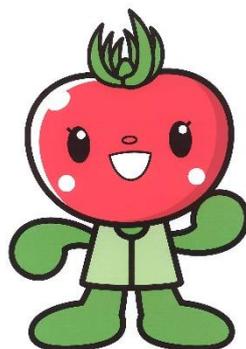
問 27 市では、これまで、市民公益活動に携わる団体間の交流を促進するため、情報交換会やパネル展を実施してきました。これらの取組について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

- ①参加を希望する
- ②内容や時期によっては参加を希望する
- ③内容や時期にかかわらず参加を希望しない
- ④わからない

※ 今後、当アンケートの集計結果や、市からのお知らせ等を送付させていただきますので、希望する団体は、以下にご連絡先をご記入ください。

貴団体名	
代表者氏名	
担当者氏名	
連絡先住所	
TEL/FAX	
Eメール	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



市民公益活動に関するアンケート調査 報告書
令和4年9月

北本市市民経済部くらし安全課市民協働担当